

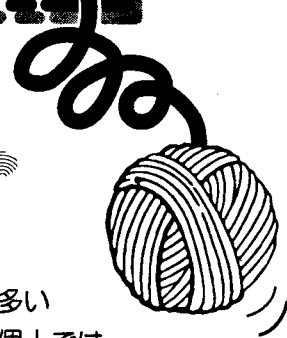
第 218 号 2006年 6 月30日

家計簿通信

編集・発行／
広島県生活協同組合連合会
くらし・消費者委員会
〒730-0012
広島市中区上八丁堀8番23号
林業ビル 4F

TEL 082-502-3850 FAX 082-502-3860
E-mail: kenren.h@proof.ocn.ne.jp
URL: http://kenren.jccu.coop/hiroshima/

消費者団体訴訟（団体訴権）制度 が成立しました



「消費者団体訴訟（団体訴権）制度って？」と耳慣れない法律に首をかしげている方も多いのではないのでしょうか。しかし、この制度の成立によってこれまで悪徳商法などの被害で個人ではどうしようもないと泣き寝入りをしていた人々たちにとって朗報である…といったら、皆さんも制度の内容に関心を持ち、中身を理解しておけば、いざという時に役立つのではないかと思います。（2007年6月施行予定）

218号では、この制度の成立でどのような変化がもたらされるのか改正前と改正後を比較してみました。



消費者団体訴訟（団体訴権）制度とは

これまでの消費者契約法では、違反行為そのものを差し止める効力がなかったため、被害にあった消費者は契約取り消しなどで救済されても、他の被害者が次々でてくるという状況にありました。今後は、被害が広がる前に不当な勧誘行為や不当な契約条項の使用を差し止めることができるようになり、消費者被害の未然防止および拡大防止が期待できます。

《改正前》

直接被害を受けていない消費者には裁判を起こす権利が認められない。

消費者団体から事業者へ改善の申し入れは、限界あり



適格消費者団体

- *申請に基づき内閣総理大臣が認定した団体。
- *活動目的、実績、法人格の有無、専門家の確保などの適格要件を満たしている。

《改正後》

不特定多数の消費者の利益を擁護するために、適格消費者団体が消費者契約法に違反する事業者の不当な勧誘や契約条項の使用などの不当な行為をやめさせることができるようになります。（事業者の業務自体の停止を求めるものではありません）

今後重要なことは？

まずは、被害にあわないこと。消費者トラブルは、「明日はわが身」どころか「今日はわが身」という状況です。悪質な業者は日々進化しています。「私には関係ない、だまされる人が馬鹿なのよ」と思った瞬間から彼らのいいカモなのです。

もしも被害にあったときにうろたえないように、どうしたらよいか情報をしておくことが大切です。地域の消費者団体・消費生活相談員・弁護士などが開催する学習会などに積極的に参加し、団体訴訟制度や消費者被害の実態についての理解を深め、ネットワークを広げることも重要です。

消費者と事業者の間で結ばれた契約の中で不当な契約条項や不当な勧誘があった場合、消費者は、契約の無効や取り消しを主張できます。
たとえば、契約書に「6ヶ月経過後と解約できません」という条項があった場合、この条項は「消費者の利益を一方的に害する条項」と裁判所に判断され、契約自体が無効になることがあります。

■ 私たち、家計簿通信の編集をします

くらし消費者委員会のメンバーが一部交代しました。

委員会では、毎月提出される家計簿の分析やくらしの提案、家計簿通信の編集などを行っています。身のまわりで気になっているくらしに関することや家計簿をつけながら感じた疑問などがありましたら、提出用紙を使ってお聞かせ下さい。紙面で紹介します。また、委員会でも研究したいと思います。このページでは2006年度のくらし消費者委員会メンバーの抱負を紹介します。

家計簿をつけてはいるけど、役に立っている？

そんな疑問を解消するために、くらし消費者委員会でいろいろと勉強したいと思っています。我が家は、これから中3を筆頭に3人の子供に次々と教育費がかかります。そして、遠方に住む両親…今は元気だけれど病気になったら…などなど、不安の種はつきません。何が起きてもジタバタしないためにはどんなライフプランが良い??実行するには日々の暮らしはどう変えていけば…?一年かけてじっくり検討していきます。(A・O)

家計簿をつけ始めて2年、最初はただつけるだけの1年でした。食費も細かく記入しようと思いましたが、分け方がわからず不安でした。今年3月に開催された家計簿学習会に参加した時に、いろいろとアドバイスしてもらいすごく参考になりました。昨年の不安をバネにして、自分らしい家計簿にしていきたいと思います。同時に、委員としてもいろんな学習ができるのではないかと楽しみにしています。(M・M)

委員会でモニターさんの声を聞かせてもらうのがとても楽しみです。それぞれの立場で生活の中から見えてくるご意見に賛同したり教えられたり…。特集ページに載せる記事の勉強会や話し合いにも生活のお役立ち情報がいっぱい。のんびり生活していると大切なことを見過ごしやすいのでこの時間を大切にしたいです。(Y・S)

この1月姑が他界し、さらに私のガン発病で翌月入院。その翌月には娘が出産というわが家では短期間に3大変化があった。死…別、病…苦、誕生…喜び。これは心身通じて改めて「命・生きる」ということを考える機会になった。

何か突発が起きてはじめて知る自分の周りの多くの支え、そして力。

これから更に生活の質をアップし、自分流のライフスタイルを創る為には与えてもらうばかりではないお互い様の関係づくりが必要である。家族、仲間はもちろん、地域においても大切に育てていきたいもの。ネットワーク等、一人ひとりの思いを話し合ってみたい。(T・H)

これから1年間、若い方達と家計簿を中心の勉強をさせていただきます。結婚して45年、3世代同居のすべてを終了し、独居老人となりました。健康に気をつけ、自分らしく心豊かにくらしたい様に勉強していきたいです。(S・H)

今年から家計簿モニターに仲間入りしました。家計簿をつけるのは25年ぶりですが、初心に帰って無理をせずにがんばろうと思っています。

今、不思議に思っていることはクレジットカードについてです。私は、一括払いオンリーなのですが、年会費なし、支払いは2ヶ月後、さらにポイントプレゼント…何故?それで成り立つの?リボ払いとは?無知な50代です。よろしく!(K・K)

家計簿をつけ始めたきっかけ

(日本生協連「家計簿からみた私たちのくらし2006」より抜粋)

Fさんは結婚を機に家計簿をつけるようになりました。もう27年つけ続けている計算になります。「共働きなので、万が一、離婚したときのために二人の財産をはっきりさせておこうと思った」のが続いた理由と笑っておっしゃいますが、その後のくらしには大いに役に立ったようです。当初は婦人雑誌の家計簿をつけていましたが、共同購入の利用を始めてから『生協の家計簿』を知り、その後愛用中。食費の内訳が細かく分かっているために何を食べているかがよく分かるのが気に入っているそうです。

みなさんが家計簿をつけ始めたきっかけは？
家計簿記録の活用法は？声をお待ちしています。





かけいぼのこえ



二重生活が始まりました

現在妊娠6ヶ月で早産のおそれがあるとのことで実家に帰りました。(4/22)

夫は広島で、私と息子は奈良の二重生活になります。引き落とし分がうまく反映できない月があるかもしれませんが、頑張って続けたいと思いますのでよろしくお願いします。(29歳)

待っていたはずなのに…

4月から下の子が幼稚園に通い始めた。それまでは買い物に行く時も病院へも、どこに行くにも一緒だった。あと少しで1人で買い物にいけると楽しみにしていたはずなのに、いざ1人になるとつまらない。買い物に行くのがあっくうで家でごろごろ…。こんなはずではなかったが、子どもたちの『ただいま』の笑顔を楽しみに毎日を大切に暮らそう。(30歳)

絵本が好きな娘のために…

娘が絵本を読むようになり、出費が増えてきました。まだ、増えそう。図書館も利用しますが、新品のほうが好きですから…。ちょっと困った置き場所もないからなあ…。(31歳)

自由時間の有効な使い方は？

下の子の入園でやっと時間を自由に使えるようになりました。いままでできなかった整理・整頓、教育費の計画など家計の見直しもじっくり考えていきたいです。(34歳)

財布のひもは引き締めて…

1年の産休が終わり、5月から子どもを保育園に預け職場復帰するため、自分のものと入園準備品を揃えて名前書きでバタバタした。3歳までは高いと聞いていた保育料は予想以上の額だったが、オムツを替えてもらい、食べさせてもらうのだから

仕方ない。家事と育児の両立+育児も入ると目の回る忙しさだろう。しかも、病気になったら寝不足の日々…と、今から覚悟を決め、最後の主婦生活を楽しんだ。

働くからと財布のひもをゆるめず、今のうちに教育費を貯蓄したいと思う。(35歳)

これ以上太らないで

今月は収入が多い分、車検&衣替えなど支出の多い月でした。夫の洋服サイズがMからLサイズになり、買い換えたのが原因です。特に下半身が太り、ウエストが太くてGパンを5本買いました。私は、高校を卒業してからずーっとMサイズなので安心なのですが、その分、夫にかかってしまう被服費です。これ以上太らぬことを祈る毎日です。(36歳)

家計簿のつけがい

毎月毎月特別な支出があって必要経費としてとっておいだ60万円が見る間に減っていきました。しかし、なんとなく減っていったわけではなく、行き先がすべて把握できるということは、心強いですよ。

あれーっ、いつの間になくなっちゃったワケ!?ということがなかっただけ家計簿のつけがいもあるというものです!!(36歳)

臥して知る家族の絆

妻であり、母であり、嫁である私が風邪とぎっくり腰になり1週間寝たきりになりました。しかし思っていた以上に子どもも成長しており、自分のことは何とか自分でして学校へ行ってくれたこと。また、寝ている私にごはんを作ってくれたことなど、いろいろなことに気づかせてくれた幸せな(?)ぎっくり腰でした。(37歳)

本当に出生率が上がるの？

今回、家計簿データを円グラフにしてみました。社会保険などの非消費支出が思っていた以上に多くて驚きました。あらためて、税の使い道をちゃんと考えてほしいと思いました。今年の4月から6年生まで児童手当が支給されますが、それよりももっと有効な使い方はないのでしょうか。出産時の手当なども厚遇されるようですが、それだけで出生率が上がるのか、かなり疑問です。(37歳)

本当？小学校時代がお金のため時って…

子どもの小学校時代がお金のため時といわれていますが、わが家では、結構かかっています。下の子がまだ幼稚園に行っていることもありますが、習い事代もばかになりませんし、レジャーにかかる娯楽費が多い時もあります。今月もまたまた大赤字です。(37歳)

時には検査を

今月は家族中で風邪を引き、嘔吐下痢、溶連菌と続けてなり、大変でした。夫は風邪から胃の調子が悪くなり、胃カメラを飲むことに。幸いたいしたことはなかったのですが、医者から脂肪肝、糖尿のほうを気をつけなさいといわれ、かなりショックだったようです。時々チェックのため、検査することも大事なと感じました。(37歳)

26年振りのあの人はだあれ？

今月は入学祝、同窓会があり交際費が普段よりかかりました。しかし、26年ぶりに小学校の時の同級生に会い、とても懐かしかったです。変わらない人もいればまったく別人のようになっていて名前がわからなかった人も大勢いました。とても有意義な同窓会でした。(38歳)

調剤技術料ってなあに？

4月から今まで領収書をくれなかった医院や調剤薬局が明細つきの領収書をくれるようになりました。よく見ると薬局の点数の内訳の中に調剤技術料ってあるのです。これっていったい何だろう？このお金の行く先は？もしかして薬代ってもっと

安くなるはずなのにあれこれ余計な理由をつけて高くしているんじゃないの？と疑ってしまいます。どなたか、ご存知の方がいらしたら教えてください。(40歳)

ただいま、食費上昇中！

来年から息子(現在中3、中3)たちが次々と高校にはいるので、教育費のピークに突入します。家計簿をにらみつつ、固定費が上がらないように努めています。しかしながら、食費はじわりじわりと上昇中。食べ盛りなので仕方ないとは思いますが…やりくりは難しい!!(40歳)

春休みの思い出

春休みの旅行、どこに行きたい？と子どもにたずねると「ディズニーランド!!」またあ～？と思いましたが、下の子のお誕生日をミッキーたちにお祝いしてもらうのもいいな～と思い、決定しました。今回は趣向を変えて、車で1週間かけているんなところを見ながら、おいしいものを食べながらの旅にしました。松阪牛のステーキ、伊勢海老、浜名湖のうなぎなどなど…おかげで食費が11万を超えてしまいました。でも、思い出いっぱいのもっとも楽しい旅になりました。さあ！これからひきしめていくぞ～！そして、夏には車で北海道を目指します。(40歳)

お父さんありがとう。

レジャー費310,156円かかりました。毎年春休みに旅行に行くのですが、今回は昨年同様沖縄に行きました。のんびりした気分と青い空、海、何もいうこともなく、気分もリフレッシュされました。春のボーナス分をほとんど使ったのですが、1年に1回、家族で家事のことも忘れ思う存分遊んできました。帰ってからは、一気に現実に戻り、また、1年頑張って来年も旅行に連れて行ってもらうつもりです。お父さんありがとう。(41歳)

おしゃれはしたいけれど…

次男の卒園式に合わせて美容院に行きました。1年ぶりです。もっとひんぱんに行きたいけどパ

ーマ代を考えたらとてもとても…。4月の入学式は自分で着物を着て節約しました。これでしばらく、着なくてすみます。(41歳)

将来の生活設計を立てて…

春休み中、大阪へ旅行したためかなりの出費がありました。今月から退職金のライフプラン給が入るようになり何とか赤字はのがれました。ライフプラン給のせいで退職金というものが全くなくなるので、将来の生活設計をしっかり立てなければと痛感しています。来年は長男が中学生なので何かと教育費がかさんできます。まずは家のローンの早期返済をしなければと思います。(42歳)

少子化の理由がわかりました!

中高の入学が重なり、30万円くらいかかりました。2人とも公立に入ったのですが…。私学に通っていたら倍以上かかったでしょうね!今さら、少子化のわけを確認した月でした。(43歳)

予算を見直さなくては…

上の娘の学費と通学定期券半年分購入で、今月はすごい出費です。下の子も中学入学で、小学時代から通っている塾も値上げになり、毎月の予算を改めて見直す必要がありそうです。(43歳)

通勤距離と疲労度は比例する?

年度が変わり、思いがけない人事異動…。通勤距離が4キロから19キロになった。毎日通勤するだけでくたびれてしまう。加えて、見かけによらず気疲れしている自分…。勤務年数がもうじき20年だけど、産休・育休の分が差し引かれるとすると…やはりやめられない…。(44歳)

育ち盛りとはどういうこと?

10kgのお米を20日間で食べてしまいます。3人の子どもは給食で、朝はパン食なのに…。育ち盛りということですね。(44歳)

親の願いどおり、来春桜満開!

上の子が中3になり、受験生なのに勉強をぜんぜんしないので家庭教師をお願いすることにしました。高いとは聞いていたのですが、入学金、4~5万円の月謝の先払いなどで、13万円近い出費。1年間お願いすることにしました。私の収入の約半分が家庭教師の月謝に消えてしまいましたが、何とか公立高校に進学してもらいたいものです。これから、教育費が家計を圧迫しそうです。(47歳)

支出のスリム化はエネルギーがいる!!

毎月の収入はきびしくなる一方。保険料や税金はどうしても額が決まっているので、消費支出で少なくできることを考えてみました。最近は、通信費・ガソリン代・食費もよく抑えています。住宅ローンの一括返済とか私的保険の見直しとか考えてみなくてはなりません。エネルギーがいるなー。(49歳)

マヒしないで! 金銭感覚

5月下旬から家の建築が始まります。あわせて、娘の結婚も決まり、秋に向けて少しずつ準備していこうと思います。スーパーの鰯や鰯の300円、400円に高い、安いと言っている身が、その千倍、万倍のお金にはほうっとなって判断ができなくなっているのですからおかしなものです。今は、タンスも和服も要らず、一人暮らして必需品はすでに持っているの、布団とソファくらいを用意したらよいのでしょうか。昔節約してつつましく暮らしてきた母が、私の結婚の時には楽しく買い物していたのを思い出します。(50歳)

気をひきしめて

子どもが家から仕事に行くようになりました。アパート代、授業料代など、ずいぶん楽になります。ちょっとサイフのひもがゆるくなりました。去年1年分の資料があるので、いつ、どれだけ、お金がいるのか頭に入れたいと思います。ちょっとサイフのひもがゆるくなるだけで、ずいぶん支出します。気をひきしめなければ…(50歳)

気持ちの持ち方が大切?

少しずつ景気がよくなっているとはいえ、まだまだ不安の多い世の中。金のない生活もそれなりに楽しいと感じて、生活の工夫をしていくほうが腹も立たずいいかも?とにかく、今の世の中、お役人のすることは全くわからない。(51歳)

「ありがとう」で報われる苦労

第3子が大学を卒業し、今月就職しました。3人の子どもたちの大学、留学にかかる教育費はすごい金額になります。今までよくがんばったと思います。大学の地より新生活への引越しなど、忙しい3・4月でしたが「大学卒業までいろいろありがとう」と感謝の気持ちを言葉にしてくれた時

は本当に嬉しかったです。

(52歳)

わが家は綿布団派!

羊毛布団、羽毛布団の時代である。が、わが家は綿布団を使用。打ち返しては使っている。先日は、肌布団2枚を新調。敷き布団を打ちかえた。気持ちよく使える。(7歳)



'06年4月分 家計簿集計表

〈世帯主の職種〉

広島県生活協同組合連合会

	全体	20歳代	30歳前半	30歳後半	40歳前半	40歳後半	50歳代	60歳以上
公務員	36	0	1	10	12	6	7	0
会社員	178	6	11	38	53	33	35	2
その他	14	0	1	2	1	4	5	1
無職	16	1	0	0	1	0	1	13
合計	244	7	13	50	67	43	48	16

	全体	20歳代	30歳前半	30歳後半	40歳前半	40歳後半	50歳代	60歳以上
調査世帯数	244	7	13	50	67	43	48	16
世帯主平均年齢	45.1	27.1	32.7	37	42.1	47.2	53.6	69.6
平均家族数	3.9	3.1	4	4.2	4.1	4.3	3.6	2.5

〈今月の食費(実平均)〉

	全体	20歳代	30歳前半	30歳後半	40歳前半	40歳後半	50歳代	60歳以上
〈食費〉	64,277	24,226	42,385	64,149	68,665	65,266	66,026	59,706
1. 主食	7,410	911	4,367	6,515	8,804	9,167	7,143	3,707
2. 副食・調味料(計)	31,561	12,985	17,639	32,024	31,717	31,489	33,990	32,061
3. 嗜好品(計)	12,890	5,480	8,355	11,653	12,274	12,935	13,857	16,177
4. 外食関係(計)	12,416	4,850	12,024	13,957	15,870	11,675	11,036	7,761
平均家族数	3.9	4.0	4.0	4.5	4.1	4.2	3.5	2.7
食費内訳記入者	133	1	6	18	32	30	33	13
総数	244	7	14	49	67	43	48	16

〈収入〉

		全体	20歳代	30歳代 前半	30歳代 後半	40歳代 前半	40歳代 後半	50歳代	60歳以上	
収入合計	本前対	730,826 593,762 123.1%	5,826,520 428,702 1359.1%	439,858 478,523 91.9%	488,333 532,346 91.7%	549,893 545,508 100.8%	587,140 732,421 80.2%	719,538 616,562 116.7%	692,087 674,017 102.7%	
	年対									
給料	夫	本前対	377,330 367,147 102.8%	227,835 280,372 81.3%	319,088 320,928 99.4%	366,944 372,001 98.6%	417,547 406,431 102.7%	433,973 393,723 110.2%	421,979 421,327 100.2%	67,931 67,778 100.2%
		年対								
	妻	本前対	61,736 57,379 107.6%	82,516 142,874 57.8%	49,570 32,254 153.7%	55,444 55,915 99.2%	67,119 54,702 122.7%	43,065 44,977 95.7%	95,388 90,231 105.7%	8,869 13,088 67.8%
		年対								
賞与	夫	本前対	16,316 19,095 85.4%	0 0 0	0 0 0	29,114 59,475 49.0%	11,773 21,782 54.1%	5,480 10,590 51.7%	31,270 3,441 908.7%	0 0 0
		年対								
	妻	本前対	1,423 2,289 62.2%	0 0 0	0 0 0	0 250 0.0%	1,418 6,613 21.4%	70 0 0	5,194 2,022 256.8%	0 0 0
		年対								
年金	夫	本前対	24,300 28,167 86.3%	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	9,557 5,911 161.7%	341,907 363,786 94.0%
		年対								
	妻	本前対	8,615 8,121 106.1%	0 0 0	0 2,454 0.0%	0 0 0	5,295 1,397 379.0%	0 0 0	4,596 814 564.6%	95,418 99,675 95.7%
		年対								
自家営業	夫	本前対	9,091 9,184 99.0%	0 0 0	28,298 71,083 39.8%	7,031 6,250 112.5%	522 3,125 16.7%	27,811 3,712 749.3%	5,583 8,000 69.8%	0 0 0
		年対								
	妻	本前対	348 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	1,266 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
		年対								
家賃地代収入	本前対	1,371 850 161.3%	0 0 0	0 0 0	0 0 0	2,690 0 0	0 0 0	2,292 3,333 68.8%	2,775 2,624 105.8%	
パート・アルバイト収入	夫	本前対	999 1,345 74.3%	0 0 0	0 0 0	1,160 0 0	134 234 57.2%	132 0 0	3,564 6,513 54.7%	0 0 0
		年対								
	妻	本前対	18,611 18,309 101.6%	786 0 0	0 5,012 0.0%	17,394 20,173 86.2%	12,759 18,066 70.6%	33,578 21,477 156.3%	26,895 26,955 99.8%	4,761 2,031 234.5%
		年対								
同居の家族よりの収入	本前対	3,718 3,122 119.1%	0 0 0	0 1,500 0.0%	2,926 2,375 123.2%	970 313 310.4%	2,209 2,373 93.1%	9,746 9,027 108.0%	8,313 4,118 201.9%	
その他収入	本前対	206,968 78,753 262.8%	5,515,383 5,457 101073.6%	42,902 45,292 94.7%	8,320 15,907 52.3%	28,400 32,846 86.5%	40,822 255,568 16.0%	103,474 38,989 265.4%	162,113 120,918 134.1%	

※1/生保一時金他(3,843万) ※2/税金還付(30万) ※3/児童扶養手当(21万) ※4/子ども骨折保険金(20万) ※5/特別児童扶養手当(20万)
 ※6/生保満期(67.4万) ※7/退職金一部(303万) ※8/学資保険(138.7万) ※9/私的年金(83万) ※10/給付金(96万)

〈非消費支出〉

		全体	20歳代	30歳代 前半	30歳代 後半	40歳代 前半	40歳代 後半	50歳代	60歳以上
非消費支出合計	本前対	148,572 143,396 103.6%	68,964 100,444 68.7%	76,516 78,106 98.0%	120,557 122,309 98.6%	152,441 142,446 107.0%	154,886 146,897 105.4%	197,244 203,252 97.0%	150,302 103,570 145.1%
	年対								
1. 税金	本前対	40,095 38,588 103.9%	9,559 14,462 66.1%	14,413 11,754 122.6%	30,769 25,252 121.8%	43,052 38,875 110.7%	49,360 41,992 117.5%	53,113 63,591 83.5%	27,133 26,637 101.9%
	年対								
2. 社会保障費	本前対	104,479 101,583 102.9%	59,291 77,222 76.8%	57,649 64,154 89.9%	86,781 94,719 91.6%	106,334 101,740 104.5%	102,277 102,653 99.6%	139,274 135,670 102.7%	111,373 66,657 167.1%
	年対								
社会保険	本前対	55,850 53,152 105.1%	33,600 47,098 71.3%	42,189 43,610 96.7%	49,936 53,752 92.9%	58,007 55,161 105.2%	56,095 52,319 107.2%	78,388 67,659 115.9%	17,858 18,591 96.1%
	年対								
私的保険	本前対	48,629 48,431 100.4%	25,691 30,123 85.3%	15,460 20,544 75.3%	36,845 40,967 89.9%	48,327 46,578 103.8%	46,182 50,334 91.8%	60,887 68,011 89.5%	93,515 48,066 194.6%
	年対								
3. その他非消費支出	本前対	3,997 3,225 123.9%	114 8,760 1.3%	4,454 2,198 202.7%	3,007 2,338 128.6%	3,055 1,832 166.8%	3,249 2,252 144.3%	4,857 3,991 121.7%	11,796 10,276 114.8%
	年対								

※アミカケ部分は小計です。 ※1/生保年払い(24.4万) ※2/固定資産税(22万) ※3/生保年払い(19万, 18万, 15万)
 ※4/個人年金年払い(15.7万) ※5/国民年金一括(16.8万) ※6/学資保険年払い(55万) ※7/生保年払い(108.9万)

〈消費支出〉

		全体	20歳代	30歳代 前半	30歳代 後半	40歳代 前半	40歳代 後半	50歳代	60歳以上
消費支出計	本年対	442,378	583,214	352,483	338,552	414,065	492,641	540,691	466,801
	前年対	433,048	246,919	480,200	391,686	394,325	513,360	494,197	326,239
	年対比	102.2%	236.2%	73.4%	86.4%	105.0%	96.0%	109.4%	143.1%
食費	本年対	62,905	29,426	51,179	58,390	68,055	68,456	66,360	54,346
	前年対	63,537	39,272	58,900	56,593	64,831	67,923	70,696	56,722
	年対比	99.0%	74.9%	86.9%	103.2%	105.0%	100.8%	93.9%	95.8%
住居費	本年対	82,298	338,956	88,692	63,794	106,767	67,635	56,422	37,212
	前年対	81,759	81,634	170,613	77,412	91,792	68,448	53,575	64,882
	年対比	100.7%	415.2%	52.0%	82.4%	116.3%	98.8%	96.3%	57.4%
家賃・地代	本年対	63,833	※1 330,806	61,266	53,099	※7 84,745	52,504	※19 38,219	2,381
	前年対	61,784	57,861	147,544	59,740	81,657	51,357	32,861	14,541
	年対比	103.3%	571.7%	41.5%	88.9%	103.8%	102.2%	116.3%	16.4%
住居費その他	本年対	18,465	※3 8,149	27,426	10,695	※8 22,022	※11 15,131	※20 18,203	34,831
	前年対	19,975	23,773	23,069	17,672	10,135	17,091	23,714	50,341
	年対比	92.4%	34.3%	118.9%	60.5%	217.3%	88.5%	70.8%	69.2%
水道・光熱費	本年対	20,879	15,610	16,416	20,151	19,317	20,900	26,445	18,869
	前年対	19,263	13,836	19,116	17,416	19,050	19,494	21,441	19,804
	年対比	108.4%	112.8%	85.9%	115.7%	101.4%	107.2%	123.3%	95.3%
被服費	本年対	17,536	9,081	12,019	17,993	17,557	16,978	23,347	8,263
	前年対	17,374	9,974	19,024	11,610	18,539	18,678	22,538	10,277
	年対比	100.9%	91.0%	63.2%	155.0%	94.7%	90.9%	103.6%	80.4%
保健医療費	本年対	6,476	2,563	6,646	8,317	8,561	-181	6,913	10,150
	前年対	10,515	3,536	7,381	8,267	13,824	8,014	11,736	11,296
	年対比	61.6%	72.5%	90.0%	100.6%	61.9%	-2.3%	58.9%	89.8%
理容衛生費	本年対	9,585	3,954	4,936	8,174	10,522	7,882	12,689	11,574
	前年対	9,729	7,070	13,223	8,548	7,731	8,580	12,196	13,826
	年対比	98.5%	55.9%	37.3%	95.6%	136.1%	91.9%	104.0%	83.7%
交際費	本年対	16,174	3,349	9,194	11,232	10,766	※12 17,437	※21 23,967	※26 38,767
	前年対	18,420	14,855	12,578	11,362	12,122	19,523	21,331	54,851
	年対比	87.8%	22.5%	73.1%	98.9%	88.8%	89.3%	112.4%	70.7%
交通通信費	本年対	21,384	25,940	26,802	17,520	19,113	21,723	27,639	16,898
	前年対	20,898	17,201	17,487	21,858	19,866	22,463	24,959	12,209
	年対比	102.3%	150.8%	153.3%	80.2%	96.2%	96.7%	110.7%	138.4%
交 通	本年対	7,464	7,144	15,342	4,727	6,140	※22 6,626	10,800	7,539
	前年対	7,424	2,390	4,478	8,767	6,558	8,394	8,988	5,244
	年対比	100.5%	298.9%	342.7%	53.9%	93.6%	78.9%	120.2%	143.8%
通 信	本年対	13,920	18,796	11,459	12,793	12,972	15,097	16,839	9,359
	前年対	13,474	14,811	13,009	13,092	13,308	14,069	15,971	6,966
	年対比	103.3%	126.9%	88.1%	97.7%	97.5%	107.3%	105.4%	134.4%
教育費	本年対	92,827	13,731	25,504	44,250	※9 62,900	※13 181,520	※23 166,250	625
	前年対	89,943	8,109	48,579	51,701	53,632	※14 190,157	※24 139,603	589
	年対比	103.2%	169.3%	52.5%	85.6%	117.3%	※17 95.5%	119.1%	106.3%
教養娯楽費	本年対	26,962	10,944	15,770	16,465	※10 24,284	19,889	20,097	※27 126,689
	前年対	23,780	14,569	11,695	23,808	22,193	21,165	28,089	38,819
	年対比	113.4%	75.1%	134.8%	69.2%	109.4%	94.0%	71.5%	326.4%
職業・主婦費	本年対	41,236	17,587	22,764	※5 41,247	29,230	44,898	56,507	61,170
	前年対	36,522	14,265	40,096	32,637	34,011	41,740	44,687	23,788
	年対比	112.9%	123.3%	56.8%	126.4%	85.9%	107.6%	126.4%	257.1%
自動車関係費	本年対	30,784	※2 103,995	※4 67,862	28,579	31,228	※18 22,264	25,366	12,811
	前年対	36,829	16,124	54,002	66,549	33,364	23,690	34,666	8,057
	年対比	83.6%	645.0%	125.7%	42.9%	93.6%	94.0%	73.2%	159.0%
その他	本年対	13,327	8,079	4,699	2,442	5,746	3,238	28,688	※28 69,427
	前年対	4,419	6,475	7,508	3,925	3,229	3,485	3,665	10,850
	年対比	301.6%	124.8%	62.6%	62.2%	177.9%	92.9%	782.9%	639.9%

※1/マンション購入頭金(191万) ※2/軽自動車購入(63万) ※3/ガレージテラス(17万) ※4/中古車購入(50万) ※5/夫こづかい(49.5万)
 ※6/住宅ローン繰り上げ返済(204万) ※7/住宅ローン(20.7万) ※8/マッサージ椅子(22.8万) ※9/大学前期授業料(43万, 26.4万)
 ※10/旅行(31万) ※11/テレビ(18.8万) ※12/息子への送金(20万) ※13/専門学校授業料(46.5万)
 ※14/大学前期授業料(26.8万, 68.3万, 26.7万, 97.1万2人分) ※15/大学入学金・前期授業料(72万) ※16/高校授業料(17.5万) ※17/?(35.3万)
 ※18/車検(18.5万) ※19/住宅ローン(20.9万) ※20/駐車場倉庫工事(31万) ※21/入学祝(22万) ※22/大学前期授業料(68.3万, 26.8万,
 48.7万, 47.4万, 26.7万, 70万, 66万, 26万) ※23/大学入学(72万) ※24/カンパ(20万) ※25/夫の実家へ(100万) ※26/入園祝(14.7万)
 ※27/海外旅行(166万) ※28/仏壇(110万)